

道立林業大学校本部機能は旭川市に設置へ

本市は講義拠点の一つに

8月2日市民説明会開催

本市がこれまで誘致活動を行ってきた(仮称)北海道立林業大学校については、7月4日、高橋はるみ北海道知事は、講義拠点は旭川市の林産試験場を核とする(本部機能は、旭川市の道立林産試験場に設置する)と表明しました。

この知事表明を受けて、北海道の運営体制に関する考え方が示され、北海道から、今後、各地域と協議を進めながら、地域の施設の活用や実習の期間などの詳細を盛り込んだ「基本計画」を年内に策定するとの説明を受けました。

これまで、町内会連合会による署名活動など、市民の皆さんからご協力をいただき、官民一体となって「オール芦別」での誘致活動を行ってきた本校舎設置はかたがたではありませんが、本市の誘致活動(提案内容)が評価され、本市は、1年次を中心に基礎知識・技術を学ぶ「講義拠点」として位置付け

られており、フィールドを活用した「実習拠点」としても検討されていますので、「基本計画」の策定に合わせ、本市の対応について、北海道と協議を進めてまいります。

「市民説明会」の開催

次の日程で「市民説明会」を開催し、これまでの経過や道立林業大学校の開校に向けた本市の今後の対応などについて説明します。2020年に開校となる道立林業大学校は、本市での講義や実習を行う予定であり、地域としての協力が必要となりますので、今後とも市民の皆様のご協力をよろしくお願ひします。

○日時 8月2日(木)午後6時～

○場所 総合福祉センターふれあいホール

●詳細 企画政策課

市長だより

5月13日ご逝去された林政志元芦別市長の奥様はじめご家族の皆様が先般市長室にお越しになられ、忌明けとなりましたことのご丁寧な挨拶を賜りました。その際、本市がかつて地域活性化のため観光振興事業として推進した「カナディアンワールド事業」に関して、林元市長が個人として多額のご負担をされておられましたことに対し、市として深く感謝の意をお伝えさせていただきました。本市振興発展のため粉骨砕身ご尽力いただいた林元市長、そしてご家族の皆様にご改めて感謝いたしますとともに、心からの故人のご冥福をお祈りいたします。

すでに新聞報道がされておりますが、道立林業学校については、このたび北海道から、平成32年度開校予定とする本部校舎を含めた本部機能を、旭川市にある「道立林産試験場」に置き、ここを核として、美唄市の「道立林業試験場」や本市と下川町を、実習を行う周辺フィールドとして活用、本部機能の一部を担う地域としたいという方針が示されました。

これまで2年以上にわたり、市、市議会、学校設立誘致期成会が一心同体で、市民並びに関係者の皆様のご支援をいただきながら、本市への設立誘致に道内の先頭を切つて全力で活動を推進してきた中で、本市が選定されなかったことは極めて残念ではありますが、本部機能の一部を担うという役割がもたらされたのは、これまでの活動が奏功し、北海道の評価につながったものと、前向きにこれを受

け止めたいと考えております。今後具体的な芦別の立ち位置、役割が、道において年内までに示すとされる基本計画に盛り込まれていくものと思われまますので、市議会、期成会の皆様ともしっかり連携して道と協議を進めてまいりますと考えております。これまで学校の設立誘致に向けご支援ご協力をいただいたすべての関係者の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

7月21、22日に開催された「第49回星の降る里・芦別健夏まつり」写真は、天候に恵まれ大勢の人でにぎわい、盛会裏に終わることができました。8月にも、「キラキラフェスタ☆あしべつ2018」や「農業まつり」など多くのイベントが開催される予定ですので、芦別の夏を大いに楽しんでいただきたいと思います。



芦別市長 荻原 貢

まだまだ暑さは続くことが予想されますので、体調管理のほか、交通事故等にも十分注意いただき、健やかに夏をお過ごしください。